

授業科目	心理学基礎実験				単位	2		
履修	選択	関連資格				ナンバリング	WE21405J	
開講年次	3年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2			
担当教員	野井 未加、杉本 有紗							
授業概要	心理学の基礎的な実験としてよく知られているものを取り上げる。知覚・認知・社会等の領域を中心に、実験・観察・調査等の方法について、実験・実習の実験者および研究対象者(実験参加者・調査協力者等)として参加体験する。なお、卒業論文・卒業研究に直接つながる位置づけの科目ではない。							
学生が達成すべき行動目標	1. 実験で得られたデータを分析・考察して実験報告書(レポート)にまとめることができる(DP1-1)。 2. 人間の特性を分析する手順・方法について理解し、実行することができる(DP1-2)。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			80				80	
知識・理解 (DP1-2)				20			20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
心理学研究における結果を正確に整理し、科学論文の要件を満たした(目的・方法・結果・考察・引用文献などの項目に分けて記述されている事)レポートを作成できる。人間の特性を分析するための方法を十分に理解し、実行することができる。				心理学研究における結果の整理・分析・考察の基本を身に着け、実験レポート作成に生かすことができる。人間の特性を分析するための基本的な方法を理解し、実行しようと努力を始める。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	テーマ:オリエンテーション・ミュラー・リヤーの錯視1 現象・結果の解説を行う。			講義				

2	テーマ:ミュラー・リヤーの錯視2 実験手順の解説を行う。	実験準備	予習:実験の手続き	60
3	テーマ:ミュラー・リヤーの錯視3 実験を行う。	実験・データ収集		
4	テーマ:ミュラー・リヤーの錯視4 実験結果の集計を行う。	データ分析・考察	レポート作成	180
5	テーマ:大きさの恒常性1 現象・結果の解説を行う。	講義		
6	テーマ:大きさの恒常性2 実験手順の解説を行う。	実験準備	予習:実験の手続き	60
7	テーマ:大きさの恒常性3 実験を行う。	実験・データ収集		
8	テーマ:大きさの恒常性4 実験結果の集計を行う。	データ分析・考察	レポートの作成	180
9	テーマ:鏡映描写1 現象・結果の解説を行う。	講義		
10	テーマ:鏡映描写2 実験手順の解説を行う。	実験準備	予習:実験の手続き	60
11	テーマ:鏡映描写3 実験を行う。	実験・データ収集		
12	テーマ:鏡映描写4 実験結果の集計を行う。	データ分析・考察	レポートの作成	180
13	テーマ:イメージ戦略1 現象・結果の解説を行う。	講義		
14	テーマ:イメージ戦略2 実験手順の解説を行う。	実験準備	予習:実験の手続き	60
15	テーマ:イメージ戦略3 データを収集する。	実験・データ収集		120
16	テーマ:イメージ戦略4 実験結果の集計を行う。	データ分析・考察	レポートの作成	180
17	テーマ:オリエンテーション 調査観察・心理検査についての解説を行う。	講義		
18	テーマ:心理尺度1 性格の認知 性格の認知及び心理尺度の解説を行う。	講義		
19	テーマ:心理尺度2 性格の認知 調査手順の解説を行う。	調査準備	予習:調査の手続き	60
20	テーマ:心理尺度3 性格の認知 調査・データ収集を行う。	調査・データ収集		
21	テーマ:心理尺度4 性格の認知 調査結果の集計を行う。	データ分析・考察	レポートの作成	240
22	テーマ:心理検査1 発達検査 発達検査の概要について解説を行う。	講義		
23	テーマ:心理検査2 発達検査 検査実施の手順について解説を行う。	検査実施準備	予習:検査実施の手順	120
24	テーマ:心理検査3 発達検査 発達検査の実習を行う。	検査実施・データ 収集		

25	テーマ:心理検査4 発達検査 検査結果の集計を行う。	検査結果の集計・ 考察	レポートの作成	180
26	テーマ:心理検査5 知能検査 知能、知能検査について解説する。	講義		
27	テーマ:心理検査6 知能検査 検査実施手順の解説を行う。	検査実施準備	予習:検査実施の手順	120
28	テーマ:心理検査7 知能検査 知能検査の実習を行う。	検査実施・データ 収集		
29	テーマ:心理検査8 知能検査 検査結果の集計を行う。	検査結果の集計・ 考察	レポートの作成	180
30	テーマ:心理検査9 知能検査 レポートを完成させ、提出する。	レポートの完成・提 出		
理解に必要な予備 知識や技能	認定心理士資格取得コースの学生のみが受講可能である。本実験を受講する前に心理統計学、心理学研究法の単位を取得しておくことが望ましい。			
テキスト	教養課程心理学教育研究会著「教材心理学 心の世界を実験する 第4版」、ナカニシヤ出版 (2015) 2,000 円＋税			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	宮原英種・宮原和子監「心理学実験を愉しむ 心理学の「日常性」と「科学性」」、ナカニシヤ出版 石原 治編「心理学基礎実験と質問紙法」、培風館 高石浩一・谷口高士共編「心理学実習基礎編」、培風館 西口利文・松浦均編「心理学実験法・レポートの書き方」 利島保・生和秀敏編著「心理学のための実験マニュアル」北大路書房他			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	単元毎にレポートの提出を求める(計7つ)。 実験・実習への取り組みや準備(20%)、レポート(50%)で評価を行う。 授業時間外で実験手順の予習、データ分析及びレポート作成に積極的に取り組むことが求められる。 心理学実験・心理学研究に関する他の文献・論文を講読することが望ましい。			
達成度評価に関する コメント	原則として全課題に実験者・実験参加者として実習を体験し、指定期限内に毎回レポートを提出した場合に限って、成績評価対象となる。			